



いずみさの

No.189
2024.5.1

市議会だより



New Topics

令和6年度予算を
可決しました

目次

- ◆議会活動報告 2
- ◆3月定例会の結果報告 2~6
- ◆施政方針に対する質問 7~11
- ◆ご案内 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 泉佐野市議会

検索



関空りんくうまちづくり特別委員会 視察

3月14日

3月14日（木）、南紀白浜空港を市議会議員14名で視察しました。目的は、①国内初の自動運転車による滑走路点検について、②人工知能AIを活用した予約制バス運行について視察し、①については、様々な分野で人手不足が問題視されるなか、「2025年大阪・関西万博」で世界各国から多くの利用が見込まれる関西国際空港でも導入が可能か、②については、さらに増加するであろうインバウンドのニーズに対して、万博開催地以外にも関空からバスによる泉佐野市を含む大阪、関西地域への観光などにおいて、AIによる予約分析の実証実験が可能か。また、空港と町内を結ぶ巡回バスに搭載するドライブレコーダーの利用による道路の維持管理への活用など付加価値の実例について丁寧な説明を受けました。



議会BCPを策定しました

3月14日

大規模災害の発生時や新型インフルエンザなどの感染症の蔓延時など緊急時における組織体制や議員の行動基準等を定めた泉佐野市議会業務継続計画（BCP）を策定し、市長に報告しました。



3月定例会議を開催

議案
第1号

地方独立行政法人泉佐野市行政事務
サービスセンターの令和6年度年度
目標の策定について

可決
賛成多数

民間委託していた窓口業務の全てを地方独立行政法人に移行して運営する初年度となるため、窓口業務の従事者の雇用状況や業務移行などの問題点の有無や改善点など業務実態についての質疑や、業務の拡大についての懸念や要望、また、「おくやみコーナー」や「書かないワンストップ窓口」など、市民サービス向上についても活発な議論が行われました。

議案
第22号

泉佐野市介護保険条例の一部を改正 する条例制定について

可決
賛成多数

令和6年度から8年度を計画期間とする第9期の介護保険料の設定と、所得段階を本市独自設定から国の所得段階基準に変更するための条例改正です。保険料の上昇を緩和するため、基金4億3,700万円を取り崩して基準額の年額79,800円を83,880円、月額6,650円を6,990円とし、月額490円の減額を行っています。



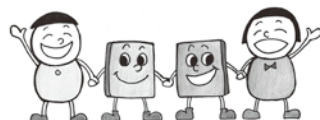
議案
第24号

令和5年度泉佐野市一般会計補正 予算(第11号)

可決
全会一致

歳出 8億8,337万円のうち主な予算は、

- コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業(国から課税対象と示されたことによる5年間分の消費税相当額の委託事業者への支払い) 313万2千円
- 地域福祉推進事業(消費税相当額の支払いに伴う税務申告等の支援) 394万3千800円
- 図書館管理運営事業(市民・国際ソロプチミスト大阪・りんくうからの寄附) 110万円
- 基金積立事業(福祉基金・6件の寄附) 112万8千円
- 基金積立事業(教育振興基金・市民からの寄附) 100万円
- 基金積立事業(奨学金基金・市民からの寄附) 6万円 等



議案
第27号

令和6年度泉佐野市一般会計予算

可決
賛成多数

令和6年度予算は、これまで取り組んできたエネルギー・物価高騰対策事業を継続実施し、住民のために必要な生活環境の整備、教育環境に重点を置いた「子育て・生活支援型予算」となっています。

予算の規模は、一般会計670億円、特別会計271億円、事業会計139億円で合計1081億円です。

スペースの関係で、子育て・教育に関する予算の中から抜粋して、新しい施策など主なものをご紹介します。

- 小中学校給食の無償化を継続実施 2億4,548万円
- 小中学校図書室の整備 1億5,860万円
- 小学校給食自校方式施設整備事業 7,077万円
食育指導の推進や質の高い安全・安心な給食の提供を目的に自校方式及び親子方式による給食調理室の工事に向けた実施設計及び地質調査等
- 不登校・長期欠席の対応拡充 1,614万円
家庭の教育機能総合支援指導員を1名→5名に増員し、不登校・長期欠席対策に取り組む
- 小中学校就学援助費補助金の対象拡充 1億7,284万円
物価高で経済的に困っている世帯を援助するため、就学援助費補助金の認定基準を、総所得額が生活保護基準の2.22倍までに拡充(従前は2.00倍)
- 図書館支援センターの設置、司書の拡充(11名→15名へ)、朝の読書活動の推進 4,980万円

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第2号	泉南市の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について泉南市と協議することについて
議案第3号	阪南市の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について阪南市と協議することについて
議案第4号	熊取町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について熊取町と協議することについて
議案第5号	田尻町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について田尻町と協議することについて
議案第6号	岬町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する規約の変更について岬町と協議することについて
	泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町からそれぞれ事務委託を受けている環境農林水産行政事務に関する規約を変更することについて各市町と協議する議案です。
議案第8号	泉佐野市手数料条例の一部を改正する条例制定について
	宅地造成等規制法が宅地造成及び特定盛土等規制法に改正されたことなどに伴い条例の一部を改正する議案です。
議案第9号	職員の退職手当についての条例の一部を改正する条例制定について
	国立大学法人法が改正されたことに伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第10号	泉佐野市職員共済会条例の一部を改正する条例制定について
	職員共済会の会員区分の整理等を行うため、条例の一部を改正する議案です。
議案第12号	泉佐野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
	会計年度任用職員への勤勉手当の支給などについて、条例の一部を改正する議案です。
議案第13号	泉佐野市職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について
	地方自治法等の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第14号	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例制定について
	事実上効力が失効している条例を廃止するための条例を制定する議案です。
議案第15号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について
	住居表示実施（鶴原貝田地区）に伴う市街地の区域及びその住居表示の方法（街区方式）について議会の議決を求める議案です。
議案第17号	泉佐野市土砂埋立て等の規制に関する条例を廃止する条例制定について
	泉佐野市土砂埋立て等の規制に関する条例の規制対象部分を包括する宅地造成及び特定盛土等規制法が施行されたことに伴い、本条例を廃止する議案です。

議案番号	案 件
議案第18号	泉佐野市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例制定について 空家等対策特別措置法の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第20号	泉佐野市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について 水道法の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第21号	泉佐野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について 地方自治法の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第23号	泉佐野市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について 退職者医療制度の廃止に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第25号	令和5年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
議案第26号	令和5年度泉佐野市水道事業会計補正予算（第1号）
議案第29号	令和6年度泉佐野市公共用地先行取得事業特別会計予算
議案第32号	令和6年度泉佐野市病院事業債管理特別会計予算
議案第35号	令和6年度泉佐野市下水道事業会計予算
議案第36号	泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について 地方税法の令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例についての改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。
議案第37号	教育委員会教育長任命についての同意を求めることについて 奥 真弥さんを任命することに同意しました。
議案第38号	公平委員会委員選任についての同意を求めることについて 家路 博史さんを選任することに同意しました。
議員発議第1号	若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書の提出について
議員発議第2号	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書の提出について



表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第7号	泉佐野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について 番号利用法の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。	可決
議案第11号	職員基本条例の一部を改正する条例制定について 懲戒基準の明確化などのため、条例の一部を改正する議案です。	可決

議案番号	案 件	結 果
議案第16号	泉佐野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について 省令の改正に伴い、条例の一部を改正する議案です。	可決
議案第19号	泉佐野市営住宅条例の一部を改正する条例制定について 「公営住宅に係る優先入居の取扱いについて」の国通知や指定管理者制度の導入などに伴い、条例の一部を改正する議案です。	可決
議案第28号	令和6年度泉佐野市国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第30号	令和6年度泉佐野市介護保険事業特別会計予算	可決
議案第31号	令和6年度泉佐野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第33号	令和6年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計予算	可決
議案第34号	令和6年度泉佐野市水道事業会計予算	可決

議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		共産党	公明党			
	中藤 大助	布田 拓也	中村 慎作	向江 英雄	大和屋 貴彦	野口 新一	新田 輝彦 議長	日根野谷 和人	射手矢 真之	峰浦 修平	中庄谷 栄孝	西野 辰也 副議長	高橋 圭子	高道 一郎	岡田 昌司	辻中 隆	大庭 聖一	松村 正秀
議案第1号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第7号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

施政方針に対する質問

市長が行う「施政方針演説」対して質問をします。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて40分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます（ただし、個人質問を行った所属議員の分は除く）。



「演壇」
この場所で質問を
行います。



← 議会中継の
QRコード

施政方針に対する質問に関するページの原稿は、本会議での発言を要約し、掲載しています。質問の全内容は、泉佐野市議会ホームページの「ライブ中継・録画配信」または、「会議録検索」（6月末日配信予定）をご覧ください。

事業者の方々からは、求人情報の掲載後すぐに応募があり経験のある人を採用できた、あるいは、長期採用に繋がったなど、喜びのお声をいただいています。「いずみさのマッチボックス」はすべての手続きをスマートフォンで行うため、スマートフォンをお持ちでない方には使っていないのが課題ですが、そのような方には、まちの活性化課で行っている無料の職業紹介や、北部市民交流センター及び南部市民交流センターでの就労相談など、対面での就労支援を積極的に実施してまいります。

A 今年2月末時点での登録者数は約2300人で、求人掲載の事業所登録数は約100件となっています。掲載された求人情報は累計で約6000件で、そのうちの95パーセントについて応募がありました。

Q 昨年10月からスタートしたお仕事探しサイト「いずみさのマッチボックス」の現状及び課題、今後の展開について問う。

「いずみさのマッチボックス」
について

公明党
泉佐野市会議員団 代表
岡田 昌司 議員



夜間中学の設置は、学齢期を過ぎた人がいつでも学び直しができる大きな教育改革です。今後もすべての人が十分な教育を受けることができるように夜間中学の教育内容を充実させ、その役割を果たしていきたいと考えています。

A 2月29日現在で25人の申請を受け付けています。受付時、個々に面接を行い、今までに受けてきた教育状況や夜間中学で何を学びたいかなどを確認し、現在それをもとにクラス分けとカリキュラムや時間割を作成しているところで、できる限り個別対応が可能なカリキュラムにしたいと考えています。

Q 本年4月に佐野中学校夜間学級（夜間中学）を開設するとあるが、現時点での申込者数、授業カリキュラム等について問う。

夜間 中学 について

・雇用・労働について
・子ども子育てについて
・学校教育について
・健康・医療について
・消防・防災について



・住宅について
・市街地整備について
・市役所機能について

住宅について

Q 国は昨年度、大規模修繕工事を適切に実施したマンションについて、固定資産税を減額する「マンション長寿命化促進税制」を創設した。分譲マンションにおける、大規模修繕工事等の促進に対する市の取り組みについて問う。

A 本市では令和5年度に、市内マンションの管理不全を未然に防ぐ、各マンション管理組合の自律的な運営による適正な管理を促進することを目的に「泉佐野市マンション管理適正化推進計画」を策定しました。この計画の目標達成に向け、まずは市内分譲マンションの管理実態の調査を実施し、その結果を踏まえて具体的な取組について検討してまいります。



自由民主党

泉佐野市会議員団 代表

高橋 圭子 議員



モンゴル国トゥブ県記念事業について

Q 令和6年度開催の記念事業について計画を教えてください。

A 泉佐野市・トゥブ県友好都市提携10周年記念事業を計画しています。記念事業の内容は、トゥブ県への市民の記念渡航をメインに据え、現地で本市の伝統芸能の紹介など、文化交流ができればと考えています。

本市では各種団体と連携し、また、関西在住のモンゴル人グループにも協力を求め、国際交流イベントの開催を考えています。ほかにも、トゥブ県側には小学生、中学生を本市に派遣したいとの意向があり、市内での交流が実施できるように検討しています。



泉佐野丘陵緑地について

Q 土地区画整理事業として事業化される東地区を含め未整備部分となっている用地の開発計画を教えてください。

・観光について

・国際化について

・産業について

・学校教育について

・地域共助・地域コミュニティについて

A 令和6年11月をめどに事業認可の取得を目指し、令和9年度末

に造成宅地の使用収益開始ができるよう工事を進め、令和10年度末をめどに換地処分を行い、その後、終了認可により事業を終える予定です。西地区は、令和10年度をめどに事業認可の取得を進めます。

Q 令和10年度末には換地処分を終え、事業終了とのことですので、新ごみ処理施設の整備についても計画が策定されていると思います。処理能力・稼働開始時期・事業費用等を教えてください。

A 新ごみ処理施設の処理能力は、現在のところ、1日当たり240トン进行想定しています。令和9年度に事業者を決定し、令和10年度に工事着工、令和14年度の稼働を目指します。土地購入費や現施設の除却も含めた施設整備費は、おおむね610億円から690億円、運営費は、売電収入などを差し引いて年間約9億円から12億円という見込みです。



大阪維新の会

泉佐野市会議員団 代表

射手矢 真之 議員



観光について

Q 大阪・関西万博を起爆剤として、地域の持続的な発展に繋げるための取り組みとして

A 大阪府内43市町村が万博会場の各催事会場で、春、夏、秋の3回にわたり、それぞれの地域魅力を発信する「大阪ウィーク」において、本市は祭りをテーマとした展示やステージ、特産品やものづくりに関する体験ブースのほか、他の参加市町村との連携により、オープンファクトリーや葛城修験といった内容での出展に向けて準備を進めているところです。

Q 近隣や地元地域を巻き込み、主体となって参加する持続的なにぎわいづくりについて

A 万博開催期間中、りんくうアイスパークを中心に、特産品相互取扱協定など本市が築いた全国56自治体とのネットワークを活用した、協定締結自治体との特産品PRイベント、「まるかじりJAPAN」の開催を予定しています。既存イベントとの連携や集約により、継続的な集

射手矢真之議員のつぎ

・観光につぎ
・子ども子育てにつぎ

・地域共助・地域ミニシティにつぎ
・消防・防災につぎ
・廃棄物処理につぎ
・公園・緑地につぎ

・住宅につぎ
・健康・医療につぎ
・道路・交通につぎ
・市街地整備につぎ

チーム泉佐野創生 代表
大和屋 貴彦 議員



客に繋げていきたいと考えています。

Q ○○横町や○○通りのような「食」に関わる店舗が立ち並ぶエリアをブランディング化して、誘客促進できないか。

A まずは、導入を予定している観光情報サイトで、飲食店等の情報発信を強化し、知名度を上げていくことに注力してまいります。

子ども・子育てについて

Q 保育士の離職防止について、「人間関係」についての負担を軽減するための取り組みについて

A 昨年4月より、公立認定こども園3園と児童発達支援センターにおいて、保育業務支援システム「コドモン」を導入し、ICT化の推進等により、仕事量の負担軽減を図り、働きやすい環境整備に努めているところです。さらに、職員の関係性やスキルを考慮した上で定例の人事異動を行い、職員のメンタルヘルスの不調に対する対策も実施するなどして、保育士の離職防止につなげていきたいと考えています。

Q 保育従事者のストレスマネージメントについて、今後広域で実施することは可能か。

A 今後、マッセOSAKAでの研修を要望するなどし、広域での取組になればと考えています。

Q こども朝食堂について委託している団体さんが3団体ということで、団体ごとで対応に差はないのか。

A 基本的に同じ形で実施していきたいと考えていますが、食事の提供方法については、各学校と協議して決定しています。



住宅について

Q 窓口での申請時に各施策の対象の住民の方に利用できる制度について積極的に案内してほしい。

A 本市では、様々な施策について、窓口手続の際の案内、チラシの配布のみならず、市報やホームページへの掲載、SNSでの発信など様々な手段で周知に努めています。

健康・医療について

Q デジタル化により追加されたサービスと今後の計画について

A 健康マイレージ事業をデジタル化（愛称「さのぼっ歩」）しました。また、健診受診による「さの健康ポイント」の付与に向け準備をしています。

Q GPSの活用について

A 今回は、歩くことを中心にシステムを構築しています。今後、GPSの活用などを研究してまいります。

Q スマホ操作のサポートについて

A 初心者向けの説明会を開催し、1対1での対応をさせていただいています。

市街地整備について

Q 長滝駅のバリアフリー化について検討していただきたい。

A 費用対効果や財政状況、国の動向などを見極めながら、JR西日本と協議をしていきたいと考えています。

各小学校区に球技等が可能な公園の整備とは

Q 公園の形態と運用はどうか。

A 適地の選定を市内13小学校区で行い、全面に高さ約5m～6mの防球フェンスまたはネットを設け、天井部分にもボールの飛び出しを防ぐネットの設置を検討しています。

有機農産物を使った給食の提供とは

Q 地産地消と有機農産物調達に関する考え方は。

A 本市の学校給食では、野菜の地場産品がある場合は地場産品を使用し、なくなれば現在も日本全国色んな地域から納品されている野菜を有機農産品に変更する方法を取り、パンの小麦は全量100%国産有機農産物化する予定です。

認知症基本法に基づいた認知症施策の推進とは

Q 富田林市のように条例制定を行なっていたいただきたいがどうか。

・各小学校区に球技等が可能な公園の整備とは
・有機農産物を使った給食の提供とは

・認知症基本法に基づいた認知症施策の推進とは
・旧コスモポリス用地の産業集積用地化とは
・挑戦的な自治体経営とは

A 本年1月に施行された認知症基本法を踏まえた本市の施策推進計画を策定し、それに基づき施策の推進を図ってまいります。また、早急に認知症当事者やその家族などのご意見をお聴きする仕組みづくりに向けて進めてまいります。

旧コスモポリス用地の産業集積用地化とは

Q 学校誘致は考えていないのか。

A 泉佐野丘陵地区の東地区、西地区を「流通・生産拠点」に位置づけ、土地利用の方針も「工業系」としておりますので、学校誘致について検討の予定はありません。

Q 大きな経済効果のある半導体企業の誘致に名乗り出ないのか。

A 周辺環境や技術的な課題に加え、仮に誘致できた場合、インパクトが大きい分、住民の生活環境への課題も考えられます。また、今回の事業スキームは、包括委託方式によるため、受託事業者が土地利用者となる進出企業を誘致することになります。

挑戦的な自治体経営とは

Q 大木・土丸地区の人口数・世帯数の推移はどうか。

10年前が610世帯1,283人で、本年1月末現在では542世帯935人と、年間で68世帯348人の減となっております。単純平均で年間約2.7%の減少となり、市域全体の数値と比較して非常に高い割合で減少傾向が続いています。

Q 大木小学校に校区内から通う児童数と特認校児童数の現状は。

A 全校で37人、そのうち大木地区から6人となっております。

Q 現在の定住促進策に加えて、提案基準27-2で定められた地域における特段の移住・定住促進策が必要であると考えているがどうか。

A 非常に少子高齢化、人口減少が進み、大木小学校に地元から通う児童が少なくなっているところで、何とかしたい、という強い気持ちはあります。地元の方々の合意の上で、町会から定住・移住策等の要望があれば、中山間地域への上乗せも十分に考えられます。

辻中 隆 議員

・生活安全について
・上下水道について
・市街地整備について



自転車ヘルメット購入費について

Q 現在の状況と、今後事業の継続について

A 令和5年度の申請件数は2月26日現在で271件で、前年度の約7倍となっております。今後もヘルメット着用の効果や努力義務化に対する理解が一定普及するまで事業を継続してまいります。

マンホールトイレ整備について

Q 能登半島地震を通じて、今後の整備計画の見直しについて

A 令和5年度は末広公園と健康増進センターに合計28基設置し、令和6年度は指定避難所8か所に合計90基の設置を考えています。

東佐野駅バリアフリー化について

Q 実現について

A 上り・下り双方のホームに、高架橋へ連結するエレベーターを設置する施設整備案が現在のところ有力であるとJR西日本より伺っており、令和6年度中に協議を進め、早期の施設整備に向け確実に取り組んでまいります。

中藤 大助 議員

・観光について
・子ども子育てについて
・消防・防災について



マイクローリズムについて

Q 国内観光客の獲得に向けてのアピール方法、及びリピーターを獲得するための施策についての考えをお聞かせください。

A 市の公式SNSや観光協会のSNSによる発信、公共交通機関・公共施設・店舗などへのポスター・チラシの設置、広告への掲載により周知したいと考えています。これまでの取り組みをブラッシュアップしながら継続し、今後もリピーターの誘客に繋がる施策を進めていきたいと考えています。

外国人消防団について

Q 外国人消防団の募集をかけることですが、災害時にどのような役割を託すのかご答弁ください。

A 大規模な地震により、交通機関が止まってしまった場合など、多くの外国人が市内に滞留することが予想されますので、その際の避難誘導や滞留者支援、また、避難所での外国人への支援を活動内容として想定しています。

布田 拓也 議員

・挑戦的な自治体経営の戦略・手段・目標について
・多様な手段で市民ニーズを市政に反映する公聴活動について
・自律できる力を育み非認知能力を高める教育、学力向上について



自律できる力を育み非認知能力を高める教育、学力向上

Q マイノートを使い自分で考え自律できる力を育む方針と、全員に同じ宿題を出すことは矛盾しないか。

A 宿題には、学校で習ったことを自ら補充・習熟するという意味合いがあります。宿題を含め、我々が目指すところは、学校とは違って一人となる家庭において、自分で目標に向かって学べる力を付けていくことです。そうしたことを家庭での学習を通じて習慣づけることは非常に大切であり、自律できる力を育むことにつながると考えます。

Q 有名な工藤勇一先生は宿題の廃止が自律性を育むと考え全廃した。学校や先生が宿題を廃止したい場合、教育委員会は良しとするか。

A 教育委員会が言うべきことではなく学校が判断すべきことと考えますが、その判断の前提として、保護者や地域の人たちにも説明したうえで地域全体で共有しながらやっていくべきことと考えます。



その他の施政方針に対する質問

中庄谷 栄孝 議員

・塾代等助成事業の助成対象緩和について
・「さのぼ」ポイント付与について
・デマンド型乗合交通の導入について



高道 一郎 議員

・中学校での「35人学級」拡充について
・小学校の給食自校方式の推進について



中村 慎作 議員

・民生委員の協力員制度について
・地域防災対策について
・小中35人学級体制での学力向上について



※議員間の申し合わせにより、個人質問は年間2回まで希望の号に掲載し、それ以外の号は質問項目のみを掲載しています。

意見書

2件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書

全会一致

（送付先）厚生労働大臣、孤独・孤立対策担当大臣



地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書

全会一致

（送付先）経済産業大臣、環境大臣



地方自治法とは

地方自治の本旨に基づいて、国と地方公共団体との基本的関係を確立し、地方公共団体の民主的で能率的な行政の確保を図り、地方公共団体の健全な発達を保障することを目的とする法律です。議会や市行政の運営についても地方自治法に規定されています。

地方自治の本旨とは、地方公共団体の団体自治及び住民自治の二つの意味における地方自治を確立すること、とされています。

本年3月に、政府より地方自治法改正案が国会に提出されています。これに対し、全国知事会から地方自治の本旨に反し安易に国の補充的な指示が行われることがないよう求める要望書が提出されており、注視すべき改正と考えられます。



豆知識





こども議会参加募集



泉佐野市議会とは、泉佐野市の税金の使い方や、行政の進め方について質問したり、意見したり、審議をするところです。みらい泉佐野こども議会は、こども議員の皆さんが泉佐野市に対して、普段感じているいろんな想いを提案したり質問したり意見する機会です。

みらい泉佐野こども議会を通じて、皆さんの貴重な意見やアイデアで、泉佐野市の未来を一緒に創りましょう!! わからないことがあっても大丈夫! 担当議員がしっかりとサポートします!!

当日はご家族やご友人の方も、是非傍聴にお越しください(手話通訳あり)。



市議会
ホームページ

- 募集人数：7人(組)※3人以内でのグループ参加も可
- 対象：泉佐野市に在住または泉佐野市内のフリースクール等に通う小学4年生～中学3年生
- 開催日時：令和6年8月4日(日)午後1時～4時
- 場所：市役所5階 市議会議場
- 応募方法：フォーム、メール、はがきのいずれかでお申込みください。応募方法などの詳細は、泉佐野市議会ホームページをご覧ください。
- お問い合わせ：泉佐野市議会事務局 072-463-1212(内線 2531)



市議会を傍聴しませんか

◆5月臨時会の日程表◆

5月17日(金) 本会議
5月21日(火) 本会議

◆6月定例会の日程表◆

6月 6日(木) 本会議
6月 7日(金) 総務産業委員会
6月10日(月) 厚生文教委員会
6月17日(月) 関空りんくうまちづくり特別委員会
6月18日(火) りんくう総合医療センター対策委員会
6月19日(水) 行財政委員会
6月24日(月) 本会議
6月25日(火) 本会議
6月26日(水) 本会議

※本会議及び委員会の傍聴については、新型コロナウイルスの感染対策のため、状況により傍聴中止や席の間隔をあけていただくなどのご協力をお願いすることがあります。市議会のホームページをご覧ください。
※午前10時開会予定です。ただし、5月21日については、委員会協議会、議員協議会終了後の開会予定です。なお、日程は変更することがあります。
※手話通訳をご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



一般社団法人農laboファクトリー 代表理事 奥 修宏 氏、監事 清水 久嗣 氏を講師に迎え、「泉佐野市におけるSDGs農業の可能性と農福連携の重要性～地域の未来を耕す～」をテーマとして3月19日に議員研修会を開催しました。

市議会だより編集委員

辻	西	向	布	高	副	峰	委員
中	野	江	田	道	員	浦	長
	辰	英	拓	一		修	
隆	也	雄	也	郎		平	